

Rotary



WEEKLY REPORT

関中央ロータリークラブ

国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ



2025~2026 年度 関中央ロータリークラブ 会長テーマ

「自利利他 自らを研鑽し

社会に貢献するロータリー」

例会日：毎週木曜日 18 時 30 分

例会場：関観光ホテル 岐阜県関市池尻 91-2

会長：吉田 和也

副会長：高井 良祐

幹事：森 敬

会報：古田 育則

前例会の記録 第 2191 回

2025年 10月 9日（木）

卓話 「私の仕事」

場所 関観光ホテル

担当 職業奉仕

事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1-D

TEL <0575>24-7332 FAX<0575>23-5278

本日のプログラム 第 2192回例会 2025年 10月 23日（木）

卓話「無理せず、ゆっくりと夢にむかって」 担当：国際青少年交換

*ロータリーソング「我等の生業」齊唱・⑨

*会長あいさつ 古田 和也 会長



本日のお客様は、国際青少年交換委員会の担当で 吳真儀 様に「無理せず、ゆっくりと夢にむかって」というテーマで卓話をいただきます。大変楽しみにしておりますので、どうか宜しくお願ひ申し上げます。

また、今日は、ひとり親家庭の新米のプレゼントのお米を精米していただきました。参加されたみなさまにおか

れましては、大変お疲れ様でございました。この後 30 日に市長に寄付の報告をさせていただき、11月 16 日に市役所において「ひとり親家庭に新米のプレゼント」ということで配布させていただく予定になっております。毎年恒例の事業となっており、いつもたくさんのご家族が受け取りにきていただいておりますので、会員のみなさまも多数の参加をお願いいたします。

さて、先週3日連続で新聞に鵜飼の記事が出ておりましたので、今日は少しその話をさせていただきたいと思います。今季 15 日で閉幕した長良川、小瀬鵜飼いの乗船客数は、長良川鵜飼が前年比 1705 人 2% 増の 8 万 5473 人、小瀬鵜飼が 207 人 3.7% 増の 5862 人だ

ったそうです。長良川鵜飼の乗船客数は 2 年連続で 8 万人超えとなったようですが、繁忙期の 8 月に増水による中止が続いたことなどが響き、目標としたコロナ前の 9 万人には届きませんでした。小瀬鵜飼いでも乗船客数が増加に転じたものの、こちらもお盆を含む、かきいれ時の 7~9 月の連休は増水による影響で伸び悩み、目標としていた 7 千人には届かなかったようです。さらに船頭不足で思うように観覧船を出航させられないという問題を抱えています。今年から閔市役所や中濃消防組合の職員が副業で船頭を務めることが可能となっておるようですが、育成には時間がかかり、あと 1.2 年は観覧船を増やせる状況ではないようで「まだまだ足りないと」危機感を募らせている模様です。山下市長も「民間にもご理解をいただき、市を挙げて鵜飼を継承していくことが大事」と述べられたようです。

恥ずかしながら、私、閔に住んでおりながら、まだ鵜飼の観覧船に乗ったことは無くて、是非来年は、鵜飼を観覧したいと思います。

しかしながら、鮎を食べることは少しひんこらしいことを言いまして、20 代のころは鮎の友釣りをやっておりまして、郡上や和良、馬瀬などいろいろな川に行って鮎をとってきて、自宅で炭をおこして焼いて食べていました。各河川で鮎の味の違いがあったように思います。私としては川の高低差があり急流でもまれた郡上の吉田川の鮎がおいしかったように思います。

9 月 19 日には清流めぐり利き鮎会が高知市で開催され、全国 57 河川の中から、グランプリには岐阜の高原川、準グランプリには郡上長良川、吉田川、益田川漁協の竹原川が選ばれ、上位に岐阜の 4 河川が入選しました。

このように、岐阜には、鵜飼などの伝統漁法、又鮎などの自然遺産があり、それを、次世代に残していくように、ロータリーとして環境保全などを大切に考えていかなければならぬと思い、本日の会長挨拶とさせていただきます。

* 本日のプログラム

卓話「無理せず、ゆっくりと夢にむかって」

国際青少年交換 前田仁夫 委員長



本日は、小田原市役所国際交流課から、おみえになりました、呉真儀さんです。台湾出身で 2002 年にダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業の研修生として 1 年間来日し、その年の年末年始に我が家にホームステイに来たのが、ご縁で今も交流が続いております。彼女は、日本に来て初めて日本語を習い、それも短期間でマスターし、その他中国語、英語、スペイン語も堪能です。それでは、宜しくお願ひします。

小田原市役所国際交流課 呉 真儀 様



こんにちは、私の名前は、呉真儀です。台湾の南、台南で生まれました。首都と違って、のんびりとした暮らしをしていました。今振り返ると、子供のころ、ゲームはあるものの、自然の中での遊び、足は悪いですが、木登りや走りまわったりして楽しかったです。今は、色々な IT 技術が発展し、世界の人々も近くなり、便利な世の中ですが、なぜか時々寂しく感じます。先程も言いましたが、私は先天性股関節脱臼という障害を持っています。5 歳頃かな? 歩き方がおかしいなと親たちは気づいていたものの、大きくなったら治ると思って、当時は誰も障害(病気)とは思いませんでした。その後、先天性股関節脱臼と診断されましたが、治療する時期をすぎてしまって、この障害を受け入れました。

一般の学校に行き、他の子ども達とはあまり変わらないように育てられましたが、重いものは運べない、早く歩けない、遠く歩けないので、もちろん学校でいじめにもありました。なんで障害をもって生まれてきたのか、親にいった事もあると思うのですけど、大きくなってからは、親には傷つかないよう注意して、足が痛くても、股関節

がだんだんひどくなつても親には言いませんでした。私は、小さい頃から世界旅行がしたい夢がありました。10歳頃、家族全員で香港に旅行に行きました。その時もたくさんは歩けないので、お父さんにおんぶしてもらつたりしていました。国の文化の違いを体験しました。そして中学の時、叔母がカナダに移住していましたので、お父さんのすすめで、カナダへ短期留学をしました。その後はなかなか海外に行く機会がなく、モヤモヤしていた時、障害を持っている人達が日本で研修ができるチャンスがあり、応募し選ばれて日本に渡航しました。もちろん日本語は話せません。行く前は少し勉強しましたが、50音が読める程度でした。生活していく中で「日替わりランチ」を頼みたかったのに、「日帰りランチ下さい」と覚えてしまって、お店に人にいつも不思議な顔をされました。今考えると面白い想い出でしたが、楽しいこともあれば、困ることもたくさんありました。友達がひとりもいない中、寂しい時はいつも山手線に乗って、何周も回っていました。

でも、人生の中いつも誰かに助けてもらっている気がします。足が悪いので、タクシーかバス移動が多かったです。ある日、ひとつ前のバス停でおりてしまい、迷子になりました近くの会社に入り道を尋ねたら、社長さんらしき人が2階から降りてきて、僕が目的地まで送るよと、目的地まで送ってもらった事もあります。色々な経験をして、私は強くなりました。

私は、少しずつですが、焦らず夢に向かって歩んでいます。愛知県から神奈川へ引越しした際、友達もいなくまた日本に来た頃の寂しさが戻って来ましたが、これまでやってきた経験で、今では海外市民交流会に加入し神奈川に住んでいる外国の方々とも交流をしています。日本での研修のチャンスを頂いたおかげで、本日ここで話す機会を頂きありがとうございます。

ご清聴ありがとうございました。

*出席委員会

会員数 27名、本日の出席 13名です。

*ニコボックス委員会

13名のご投函ありがとうございました。

*その他の委員会報告

*幹事報告

<次例会の案内>

第 2193 回 11月 2 日 (日)

森林整備例会(里山)

担当 :環境保全・IA

11月 6 日(木) 休 会